

授業科目 耳鼻咽喉科学

【担当教員名】 中野雄一	対象学年	1	対象学科	言語
	開講時期	後期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：G I O>】  
 五感のうち聴覚・嗅覚・味覚などの感覚に加え、平衡覚さらには発声、呼吸機能にも深く関与する耳鼻咽喉科領域は文化的生活に密着した耳、鼻、咽頭、喉頭、気管、食道に分けてそれぞれの構造と機能、検査、疾患について概説する。

【<学習目標>又は<行動目標：S B O>】  
 講義内容を整理し、理解して、説明できるようにまとめる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO
		番号 学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	聴覚系構造と機能、主な難聴疾患、年齢と難聴	講義
2	平衡系の構造と機能、主なめまい疾患	講義
3	耳の構造と顔面神経の走行・主な顔面神経麻痺	講義
4	鼻の構造と機能、感冒と鼻症状	講義
5	主な鼻副鼻腔疾患	講義
6	口腔・咽頭の構造と機能、急性扁桃炎とその症状	講義
7	主な口腔・咽頭疾患	講義
8	喉頭の構造と機能	講義
9	喉頭の検査	講義
10	嚥声をきたす喉頭疾患	講義
11	気管・食道の構造と機能	講義
12	気管・食道の検査	講義
13	主な気管・食道疾患	講義
14	嚥下障害をきたす食道疾患	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)				
参考書	新耳鼻咽喉科・頭頸部外科学Qシリーズ	市川銀一郎	日本医事新報社	1998年、2800円
その他の資料	プリント配布			

【評価方法】 出席状況と定期的試験から評価する。	【履修上の留意点】
-----------------------------	-----------

言語聴覚学科 専門